



MEDICA/COMPAMED 2013

ファイナルレポート

MEDICA/COMPAMED はマーケットの写し鏡：高まる国際化の重要性



医療機器、医療製品メーカーにとって、海外ビジネスのコンタクトの重要性は高まっている。幅広く海外マーケットを開拓している企業は、一部のマーケット・エリアが不況に喘いでいても、他の成長マーケットなどでバランスを保つことができている。

11月20日～23日の4日間で開催されたMEDICA、同20日～22日の3日間で開催されたCOMPAMED、2展の終了後に確認されたキーワードは国際化である。約132,000名の今回の

来場者（前回2012年:130,600名）のうち、半数以上は海外からの来場であり、国の数は120か国を超えた。世界中からMEDICAに参加した来場者は、同展の66か国4,641の出展者が展示する最新の医療機器・製品・サービスを、主に商談の場として活用した。カバーされている製品ラインナップは幅広く、医療技術、電子医療機器、診断分析機器、試薬、整形外科からディスポ、病院設備、ヘルスITにわたる。

主催者メッセ・デュッセルドルフの取締役、シェーファーによると、近年、医療産業に有望な新興国、インドやロシア、中国、南米からのビジターの増加が顕著だと語った。

この評価はSPECTARIS（ドイツハイテク産業協会）、ZVEI（ドイツ電気・電子工業連盟）やBVMed（ドイツメディカル・テクノロジー協会）などドイツの主要な産業団体のものとも一致する。MEDICA2013での最新の市場動向の予測では輸出の重要性が挙げられている。これらのレポートによるとドイツ医療技術産業の年間売上230億ユーロの68パーセントが輸出によるものである。この状況についてSPECTARISは、輸出や海外取引は数字のみならず、ドイツ企業の成長要素に間違いなく必要なものであるとコメントしている。理由はドイツ国内マーケットが海外を含む大手企業による競争の激しさにあるとしている。

MEDICAに出展されたイノベーティブな製品には業界のトレンドが映し出されていた。コンパクトな遠隔医療に関するモバイル・アプリケーション、例えば患者モニタリング用、健康管理に関わる各種パラメーター測定機器などのコンパクト化。またスマートホンやタブレットPC向けの健康に関する各種分析、記録アプリなど。特に画像診断や超音波に関連する機器などはイノベーティブな製品が溢れ、来場者の注目を集めた。

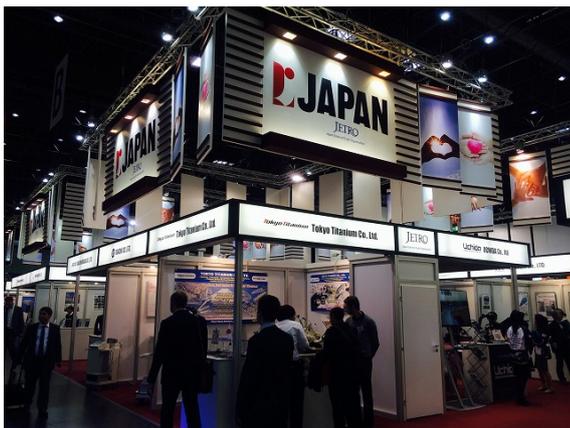
同時開催 COMPAMED は MEDICA の良き製品開発パートナー

MEDICA と同時開催の COMPAMED（会期は1日短く3日間）は37カ国から681社の出展で開催され、過去最大規模を記録した。主に医療機器製造に必要な加工技術、部材などをプレゼンする COMPAMED は約17,000人の来場者に対し、“MedTech”に必要な数多くの技術やソリューションを提案した。内容的には新素材、部品、試作品、パッケージやマイクロシステム、ナノテクノロジーに関する技術やサービスが多数見られた。



日本からの出展企業は過去最高の126社が出展

日本企業の出展者は今年、MEDICA/COMPAMED を合わせ [126社](#) と、昨年104社を上回る過去最高の出展者が参加し、各社ブースで商談や製品のプロモーションを行った（数字は現地法人出展を除く）。ジェトロや神戸市が今年もパビリオンを設置、COMPAMED では日立市、長野県に加え、大田区や特殊針メーカーの㈱ユニシスがパビリオンを設置し、関連メーカー、取引メーカーの出展や商談をサポートした。



ジェトロが組織したジャパン・パビリオンには、海外への販路開拓を目指す28の日本の中小企業・団体が昨年引き続き規模を拡大して参加した。同パビリオンでは技術力の高い日本製品の販路開拓をジャパン・ブランドのもとで行った。

同パビリオンに参加した福島県の有限会社 品川通信計装サービスは「初出展ですが予想以上の反響があり、少々驚いている。今後の状況にもよるが次回の機会があれば戦略を練って再度臨みたいと思う」とコメント。同じく

チェスト株式会社は「新規代理店候補とたくさん商談ができ、また既存の代理店とも話ができたので満足な結果となった。帰国してから未開拓の国や、一度撤退した国へ再進出できるようにしたい」と商談の場である MEDICA への出展を評価した。

神戸市のパビリオンには7社が参加したが、そのうち、継続出展のエコウス株式会社は「昨年に引き続き多くの来客があり、今後につながる可能性が高いと考える」とコメントした。

以下は単独で出展した MEDICA 日本出展企業のコメント。

- * 「昨年よりも弊社ブースへの来客者数のはるかに多かったため今回の展示は成功だったと思えます」（株式会社 常光）
- * 「自社製品の売り込みとともに製品の認知度を図る良い機会となった。また、既存の取引先との商談を行える有意義な場であると感じた」（川本産業株式会社）
- * 「今回で2回目となりましたが、初回と比べて来場者も増え、アポイントを取っての商談もできるようになり、活発な展示、商談会となりました」（クラレクラフレックス株式会社）

- * 「機器なし、試薬のみの特殊な出展にもかかわらず、多くの来場者があり、想定以上の集客という結果であった」(協和メデックス株式会社)
- * 「例年以上の引き合いが来ており、当社としての新規開拓の第一段階ができて良かった。EU,中東からの引き合いが多くアジアは少ない印象だった」(積水化成品工業株式会社)
- * 「過去4回の出展で一番来訪者が多かったので今後のビジネスに期待しています」(株式会社セブンス・ディメンジョン・デザイン)
- * 「単独出展が初めてで不安がたくさんありましたが、想像以上にブース訪問者があり、満足しています」(株式会社スミロン)
- * 「顧客は欧州、アジアから広範なブース来訪があり良かった。ホール10の良い配置に入れていただいたため、ブースが狭いにもかかわらず足を止める人が多かったのはうれしいこと」(ゼオンメディカル株式会社)

COMPAMED に初めて大田区パビリオンを設置した大田区産業振興協会は「初出展の割には様々なビジネスパートナーと接点を持つことができた」とコメント。

単独で初出展したスガツネ工業株式会社は「予想より来場者のクオリティーが高く、また、ほとんどの来場者が具体的な案件を持っているため、出展して本当に良かったと思います」とコメント。専門性の高いCOMPAMED への評価が寄せられた。

次回MEDICA2014は2014年11月12日から15日まで4日間の開催

COMPAMED 2014は2014年11月12日から14日まで3日間の開催。

MEDICA2014への出展申し込み締め切りは3月1日厳守

COMPAMED2014への出展申し込みは3月より5月15日まで

申込に関しましてお問い合わせは下記(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンまで。

公式サイト <http://www.medica.de> <http://www.compamed.de>

日本語サイト <http://medica.messe-dus.co.jp> <http://compamed.messe-dus.co.jp>

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：服部

〒104-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959 / mdj@messe-dus.co.jp www.messe-dus.co.jp